

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14 : 00 ~ 15 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	7 人	2 人	人	19 人

前回の改善計画

会議での情報共有は継続して行い、初期段階でのさりげない声のかけ方、会話の運び方、利用者との良い距離感を学び、利用者の不安を軽減できるような関係作りに努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

情報共有の意識は高く、送りや連絡ノートで確認できている。初期においては、本人の興味のあることから会話の糸口を見出すことに努め、声かけのタイミングが重要であると実践を通し学んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	14	5			19
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	11	6	2		19
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	11	5	3		19
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	10	1		19

できている点

- ・情報は、連絡ノートや研修で事前に共有している。
- ・退院先から自宅に直接戻るのではなく、そのままショートステイに入り、日常生活に慣れながらその間に住宅改修を行い、その時必要な支援の提供ができた。
- ・送迎や訪問は、不安を和らげ安心できるよう、できる限り同じスタッフが対応した。

できていない点

- ・出勤後すぐ送迎に出たため、新しい情報を十分に把握できなかった。
- ・経験不足もあり、上手く伝えられない利用者の不安に早期に気づけなかった。
- ・本人にあった話をするのが難しく、一般的な話に偏り会話を続けることが難しかった。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

出勤後すぐ外出する状況であっても新情報が把握できるよう、必要情報を当日のタイムスケジュール板に解りやすく掲示する。また、スムーズな会話で円滑に利用者との関係が築けるよう新人とベテランが協力しチームで支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14 : 00 ~ 15 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	8 人	1 人	人	19 人

前回の改善計画

日々の関わりの中で、状態変化に留意し、定期的な会議だけではなくケアマネを中心に随時検討し、早い段階で、状態に応じた支援での自己実現を目指していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

本人の目標を理解し、“現場での声”を重視しながら、車椅子→椅子→歩行器と段階を踏みながら状態に応じた支援で自力歩行に至り、自己実現を目指した支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	15	3	1		19
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	15	3	1		19
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	11	8			19
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	9	7	2	1	19

できている点

- ・できる事から始められる短期目標で本人にあった支援をしている。
- ・トイレで排泄ができるよう、ポータブルトイレから訓練を行い目標が達成できた。
- ・目標を共有しながら、本人のしたいことを優先しケアしている。
- ・カンファレンスで状態を確認し、ADL 向上へ繋げた (オムツ→リハパンへ)。
- ・本人の態度から排泄意思を汲み取り、トイレと言えない利用者に対しても適切なケアができた。

できていない点

- ・家族と本人の希望が違い、本人の「～したい」と思う支援が難しいことがあった。
- ・経験や観察不足により、声にならない声があり解らなかった。
- ・声かけの工夫が十分ではなかったのか? 入浴拒否があり家族の希望に添えない時がある。

次回までの具体的な改善計画

本人と家族の要望が違う場合においても、様々な方向から対応方法を工夫し根気よく支援していく。また、入浴拒否が減らせるよう、本人にあった声掛け方法を探り目標実現に向けた支援を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14 : 00 ~ 15 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	12 人	6 人	1 人	人	19 人

前回の改善計画

リーダーを中心に、日常の様子をよく観察し、ちょっとした変化にすぐに気づけるよう、スタッフ間の連携を密にして情報共有を徹底する。

前回の改善計画に対する取組み結果

リーダーを中心に、体調不良に早期に気づけるよう、日頃のバイタルや病歴を把握しながらケアに努めた。また、体調不調に自覚症状がない人の発見は遅れることもあり、更に工夫が必要と理解できた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	8	7	3	1	19
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	13	6			19
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	12	6	1		19
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	13	6			19
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	13	5	1		19

できている点

- ・ 以前の暮らし方は、日常会話からより多く知るよう努めた。
- ・ 食事形態、排泄方法等を一人ひとりに合わせ介護ができた。
- ・ 上手く伝えられない人が何を訴えているのか、毎月研修で話あい理解することができた。
- ・ 入院が長引き排泄が難しくなった人に対し、トイレ誘導を徐々に行い尿意が戻り自立支援に繋がった。
- ・ リーダーから変更内容を聴き、変化にあった対応をすることができた。

できていない点

- ・ 上手く伝えられず、身寄りがない人において、以前の暮らし方を知った上での支援が難しい場合もある。
- ・ 体調不良があっても、自覚症状がなく変化に気づくのが遅くなったことがある。
- ・ 観察力不足もあり、気持ちの変化にすぐに気づけず、拒否なったケースがあった。

次回までの具体的な改善計画

体調不良に自覚がない人であっても早期に気づけるよう、その人にあったケア方法を見直し、バイタル測定回数も柔軟に対応する。

事業所自己評価・ミーティング様式

4. 地域での暮らしの支援

実施日 平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14 : 00 ~ 15 : 30)

メンバー 大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	9 人	2 人	人	19 人

前回の改善計画

困難な事例においても、本人の意思を尊重しつつ、地域資源を活用しながら、本人と地域との関わりを一つでもたもてるよう支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果

困難事例は少なくはなく、ケアプラザや自治会・区役所等と協力しながら対応している。安全に生活できるよう、近所の方に見守りやゴミ出しに協力いただき、地域と関わりながら支援できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	13	5	1		19
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	7	11	1		19
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	6	11	2		19
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	13	1	1	19

できている点

- ・研修や記録、カンファレンスで、生活歴等を理解し共有できている。
- ・家族との関係が途切れず、且つ、行き過ぎた支援にならないようなケアに努めた。
- ・本人のこれまでの生活を理解し、得意な手作業を支援することで、生きがいに繋げる事ができた。
- ・遠くの親族と関わることで、本人が望む暮らしに繋がった。
- ・地域資源の活用で、小学生や原宿獅子保存会のボランティアの方々と交流できた。

できていない点

- ・介護サービスの利用を知られたくない人もいるため、地域と関わるまでに至らないケースがある。
- ・経験が浅く、人間関係や地域資源にまでまだ目を向けられていない。
- ・独居で家族が遠いと、施設に依頼することが多く、家族との関わりが現実的に難しいケースもある。

次回までの具体的な改善計画

家族との関わりが難しいケースであっても、地域資源を活用しながら、できる限り本人が家族と関わる事ができるよう柔軟な対応を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

5. 多機能性ある柔軟な支援

実施日 平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14 : 00 ~ 15 : 30)

メンバー 大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	12 人	7 人	人	人	19 人

前回の改善計画

情報の混乱を防ぐため、リーダーから最新情報や対応方法を解りやすくスタッフに伝え、利用者の変化に即した柔軟な支援を継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

リーダーから情報を発信し、統一したケアに努めた。体調不調の際は、生活状況を考慮し (独居) デイサービスであっても急遽ショートステイへ切替え、柔軟な支援が継続できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	10	9			19
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	16	3			19
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	14	5			19
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	16	3			19

できている点

- ・家族が急な用事があった際に、時間外のデイサービスで対応した。
- ・毎日訪問し内服確認を行い、要支援者に対しても必要なサービスが受けられるよう支援できた。
- ・一人ひとりのニーズに応じ、緊急のショートステイ等柔軟な支援ができた。
- ・訪問先において緊急受診が必要となった際、一緒にそのまま同行し即時の対応ができた。
- ・配食サービスやゴミ出しなどの地域資源を活用し、介護保険以外のサービス利用に繋いだ。

できていない点

- ・要望がエスカレートし、必要な支援以上を求められ、理解されるまでに時間を要する場合がある。
- ・悪い変化は危険度が高くなり目立つが、良いことは穏やかに変化し気づくのが遅くなることがあった。
- ・柔軟な対応ゆえ情報量は多く、新しい情報の把握に遅れたことがある。事前に把握する努力不足もあったと思う。

次回までの具体的な改善計画

悪い変化も良い変化も共に早い段階で気づけるよう、その時・その状態にあった支援で状況を見極め、情報共有を徹底する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14:00 ~ 15:30)

6. 連携・協働

メンバー 大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	10 人	1 人	人	19 人

前回の改善計画

地域や自治会、他事業所との関わりの中から、車いすで参加できるイベントの情報を集め、より外出できる機会を確保し、本人の生活を支えられるよう更に連携を密にしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

獅子舞(原宿獅子保存会)・フラダンス・遊行寺散策等、多くの行事に参加し地域や他事業所とも交流を深めることができた。また、ケアプラザ・区役所・自治会等と協働し、必要なサービスが受けられるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	17	2			19
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	19				19
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	18	1			19
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	14	2		19

できている点

- ・雛人形、御神輿、獅子舞、民謡等のたくさんのイベントに参加できた。
- ・訪問看護やケアプラザ等と連携し、必要な支援(入所等)に繋いでいる。
- ・サービス担当者会議やカンファレンスを行い、総合的に話し合うことができている。
- ・会議には管理者やケアマネージャーが事業所の代表として参加している。
- ・福祉用具業者と利用者宅と一緒に訪問し、実際に何が必要か?検討し、連携を密にできた。

できていない点

- ・好みもあり、イベント参加の顔ぶれにあまり変化がみられない場合もある。
- ・車椅子対応のイベントばかりでないため、車椅子利用者の参加は限られてしまう。
- ・行事が毎月開催され、その際に地域の方々の訪問があり、普段からの訪問は多くはない。
- ・「車椅子を近隣に知られたくない」という本人の思いもあり、外出を嫌がる人もいる。

次回までの具体的な改善計画

本人の意思を尊重しながら、イベントに参加できる機会を確保し他者との交流を支援する。また、その人の好みに合った活動に参加できるよう地域との連携に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14 : 00 ~ 15 : 30)

7. 運営

メンバー 大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	10 人	人	人	19 人

前回の改善計画

運営推進会議を通し、独居高齢者宅への詐欺被害予防のために地域ぐるみで注意喚起を行い、高齢者を支えられるように努めていく。また、地域や家族の困りごと等に耳を傾け、更なる事業所の質の向上を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議において情報交換を行い、利用者に対し定期的に声掛けを行い詐欺被害予防に努めた。また、家族からの相談等も真摯に受止め、スタッフ間で相談しながら対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	7	9	2	1	19
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	12	7			19
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	13	6			19
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	6	13			19

できている点

- ・常勤職員を中心とした現場での意見が反映されるよう、毎月研修が開催されている。
- ・苦情は研修や申し送りで話し合い、対応方法も統一され理解できた。
- ・運営推進会議の内容を皆で共有し、実践に繋がった。
- ・利用者以外の相談に対し、必要な支援が受けられるよう繋ぐことができた。
- ・本人の要望を夜間においても聴くことができ、改善に至ることができた。

できていない点

- ・家族と本人の意見が違い、対応するまでに時間がかかり難しい場合がある。
- ・認知症と受止めきれない家族も少なくはなく、盗られ妄想が現れた際、実際に施設で盗難があったと苦情が入り解決までに時間がかかるケースがある (後に、自宅布団下から発見)。
- ・先輩に教えてもらっている段階で、意見するまでに至っていない。

次回までの具体的な改善計画

苦情は真摯に受止め、苦情に至った原因とその過程を慎重に検討し、スタッフ全員で解決方法を見出していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14 : 00 ~ 15 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	10 人	人	人	19 人

前回の改善計画

外部研修は自主性を重んじ、できる範囲での参加を支援し、内部研修は全職員の参加を継続しサービスの質の向上に取り組む。小さなヒヤリハットにでも気づけるよう、事例検討やスタッフの連携を密にし事故防止に努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

外部研修に参加し資格取得に取組み、内部研修も全職員の参加を継続している。また、様々な状況での事故を想定し、事例を用い研修を行い事故防止に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか。	17	2			19
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか。	16	1	1	1	19
③	地域連絡会に参加していますか。	18	1			19
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか。	14	5			19

できている点

- ・外部研修に参加し、資格取得に繋がりスキルアップが図れた。
- ・内部研修期間が長く設けられているため、勤務日で無理なく参加できた。
- ・避難訓練で消防署から指導を受け、避難方法を再確認した。
- ・横浜市小規模多機能事業者連絡会に管理者が事業所の代表として参加している。
- ・ヒヤリハット、事例を検討し情報共有でリスクマネジメントに取り組んだ。

できていない点

- ・勤務が浅く外部研修に参加できていないが、今後参加したいと思う。
- ・時間的に困難、諸事情により外部研修に参加できなかった。
- ・経験が浅くヒヤリハットに事前に気づけず、ベテランに指導されてから気づくケースがある。

次回までの具体的な改善計画

危険を事前に察知し事故を未然に防げるよう、新人とベテランが協力し、より多くの小さなヒヤリハットに気づけるよう協力体制で事故防止に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

平成 30 年 2 月 22, 23 日 (14:00 ~ 15:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー

大嶋・杉江・浅利・斉藤・古郡・小澤・山岸・
工藤・小山ゆ・岩井・西野・千葉・吉田・野村・
小山ヨ・橋本・大坪・田中・森住・下根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11 人	8 人	人	人	19 人

前回の改善計画

独居宅においては、できる限り訪問サービスの利用を呼び掛けている。いつもと違った生活状態やちょっとした会話より悪徳商法に早期に気づけるよう更に予防に努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

独居宅や目が殆ど見えない利用者宅への訪問回数を増やしサービス内容を充実させ、悪徳商法等に至らず支援することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	19				19
②	虐待は行われていない	19				19
③	プライバシーが守られている	14	5			19
④	必要な方に成年後見制度を活用している	18	1			19
⑤	適正な個人情報の管理ができている	15	4			19

できている点

- ・研修を毎年行い、身体拘束について正しく学び、理解することができている。
- ・毎年研修で再確認を行い、事業所での意識も高く虐待は行われていない。
- ・特に排泄が困難な利用者へ、さりげなく誘導しプライバシー配慮に努めた。
- ・個人情報、退職後も継続する理解にあり必要な知識を習得できた。
- ・判断能力が困難で身寄りがない人に対し、ケアプラザ等と協力し成年後見制度に繋げた。

できていない点

- ・利用者から聴かれたことに対し、個人情報に近い話をしてしまい後から気づいたことがあった。
- ・ケアする場所が同一のため(要介護・要支援)、プライバシーを全て保護するのは難しい時もある。
- ・成年後見制度が必要であっても、拒否があり、かなりの時間を要する場合があった。

次回までの具体的な改善計画

書類だけではなく、日常会話の中においても個人情報が正しく保護されるよう、日々の業務に関わる個人情報について更に深く学び認識を高める。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 リラ福祉サービス	代表者	代表取締役 馬場 世津	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域での生活が継続できるよう、柔軟な対応で一人ひとりの暮らしを支援しています。地域行事への参加や、ボランティアの訪問により音楽会や獅子舞等を定期的に開催し地域住民との交流を図り、本人の暮らしを支援しています。 法人は有限会社リラ福祉サービスの経営で、グループホーム、有料老人ホーム、デイサービス、サードサービス付き高齢者住宅、居宅介護支援、訪問介護、訪問看護、福祉用具等々、多岐にわたり法人理念に基づいた施設運営を行っています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 事業所 こすずめの里	管理者	大嶋 芽美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	4人	人	1人	1人	人	2人	2人	12人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	課題を見つける機会となるよう、更に多くのスタッフが自己評価に参加し、話し合う期間を長く設け、多くの意見でサービスの質の向上に繋げていく。 地域の方が事業に入りやすいよう、まずは催し物開催のお知らせを表に掲示し、効果を検証し工夫していく。	前年度より自己評価の参加人数が増えた。 ミーティングを行い、活発な意見交換のもとサービスの充実が図れた。 イベントを表に掲示したが、落書きや防火面で難しく、掲示は断念した。 イベント開催日に次回日程をお知らせすることで参加数の安定が図れた。	改善計画が、前年度より具体的になっている。 全ての改善計画を把握できているのか？ 事業所内は、飾りや掲示物に季節感があり、長く行事を楽しめるよう工夫されている。 セコムが入り防犯対策がとられていて良い。	自己評価から見出した課題（改善計画）を、日常的に内容が確認できるよう事務所内に掲示し意識を高める。 年中行事を中心に、季節を感じられるよう掲示物や飾りで室内を工夫し、利用者にとって居心地の良い環境作りに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所を多くの人に知ってもらうために、事業所イベント案内を施設前に掲示し、地域の方と関わる機会を増やし、更なる関係性へ繋げていく。	表への掲示は支障が生じ断念したが、ボランティアの方々による民謡・獅子舞の開催等により地域との交流が図れた。	毎月地域のイベント等に参加している。 普段出かけない人も、イベントがあれば出かけるきっかけになると思う。	一人で地域行事に参加ができないうちの場合においても、スタッフが一緒に参加することで、地域の方々の交流を支援する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域イベントに参加し、地域と関わる機会を継続し、本人の暮らしを支援していく。	獅子舞・ギターコンサート等多くの行事に参加し地域や他事業所とも交流を深める事ができた。 ケアプラザ等と協働し必要なサービスが受けられるよう支援できた。	年をとると出かけるのは大変で、体調の変動もあり、参加できないことも少なくない。 外出する機会を継続して欲しい。	多くの利用者が地域のイベントに参加できるよう、支援体制をより充実させ外出できる機会を確保する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	多くの情報を発信し、地域と協力し高齢者を支えていく。運営推進会での要望や助言を真摯に受止め、事業所のサービスの質の向上に繋げていく。	運営推進会議において情報交換を行い、地域ぐるみで詐欺被害予防を呼びかけた。 認知症予防のため、予防方法を具体的に検討しサービスの質の向上に努めた。	地域の困りごとを相談でき、いろいろな知恵が集まる場所である。様々な職種が集まると困難事例で解決策が見いだせる。 オレオレ詐欺を呼び掛けているがなかなか減らない。	運営推進会において、地域の困りごとを様々な方向から検討していく。 情報を共有し、地域と協力しオレオレ詐欺の注意喚起を継続し高齢者を支えていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	防災災害対策計画は、毎年見直しを行い現行に沿うものを作成する。また、防災訓練も利用者参加型で継続し、いざという時に全職員が慌てず行動できるよう対応方法を充実させる。	利用者参加型による訓練を行い、いざという時の対応方法を学んでいる。 防災災害対策計画は、水害時の避難場所を、より安全性が考慮された場所へ変更した。	災害時に持出す備蓄品は、絵や写真にすると解りやすい。 防災災害対策計画が手厚く作られていて良い。	災害時に必要な備蓄品を混乱せず持出せるよう、文字だけではなく絵や写真を用い作成する。

収受番号:

334

評価結果提出届 (兼受理書)

(小規模多機能型居宅介護)

健康福祉局介護事業指導課 あて

(太枠内のみ記入してください。)

提出日: 平成 30 年 3 月 19 日

届出者	サービス種別 (該当に○)	☐ 小規模多機能型居宅介護	☐ 介護予防小規模多機能型居宅介護	
	事業所番号	1 4 9 1 0 0 0 2 8 5		
	事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 こすすめり		
	事業所所在地	(〒245 - 0063) 横浜市 戸塚区 原宿 2-6-7		
	担当者名	大山島 芽美		
	連絡先	電話	045(858)3322	FAX 045(858)3322

次のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議開催日		平成 30 年 2 月 28 日	
添付書類 (チェック欄にレ)	チェック欄	☒	事業所自己評価
		☒	サービス評価総括表
		☒	返信用封筒(82 円切手を貼った返信先明記の長 3 封筒)

(以下は記入しないでください。)

評価結果提出届を受理しました。

受理日	平成 30 年 3 月 20 日	実施年度	29 年度
次回実施期限	平成 31 年 3 月 31 日		

< 次回の外部評価実施後、運営推進介護を開催した日から 1 か月以内に提出をしてください。 >

< この受理書は再発行しません。 >

【発行】 横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX 045-681-7789

受付担当者:

